

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	施設での看取り介護についての一連の流れは確認できているが、実績も少なく知識も不足している。	施設での看取り介護の希望があった場合、スムーズに支援ができるようにする。	看取りを正しく理解し、施設における看取り介護の知識を習得するための勉強会を3か月に1回実施する。	12ヶ月
2	5	認知症の進行に伴い、「ちょっと待って下さい」などの声掛けが多い。	普段使っている言葉がスピーチロックあることを意識する。利用者様にもたらす影響を考える。	スピーチロックとは。スピーチロックの対策。スピーチロックによる利用者様にもたらす影響についての勉強会を3ヶ月に1回実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。